

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	国民健康保険料収納対策事業		担当部署	健康福祉部 保険課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	国民健康保険法等	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="13"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期
(小項目)		社会保障			
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施			
基本事業	1	健全財政の確立			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 国民健康保険、介護保険および後期高齢者医療保険加入者														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	全ての国民健康保険加入者が国民健康保険料等を納付した状態。														
事業計画	27年度に何を計画していたか	これまで同様、徴収嘱託員5名により市内全域について対応できるよう、地区ごとに担当制とし、通年的に臨戸徴収を継続実施する。収納率向上に効果のある口座振替加入についても、訪問により啓発に努め、加入促進を図る。 なお、長期・高額滞納者については、職員による地区担当制を導入し、差押を視野に入れた個別催告書を発送したり、訪問・電話催告等を行うなど、接触を持つきっかけを増やす。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険料収納率(現年度)</td> <td>93.0</td> <td>94.05</td> <td>94.10</td> <td>94.15</td> <td>94.20</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	国民健康保険料収納率(現年度)	93.0	94.05	94.10	94.15	94.20	%
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
国民健康保険料収納率(現年度)	93.0	94.05	94.10	94.15	94.20	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	徴収嘱託員により市内全域を通年的に臨戸徴収を継続実施するとともに、収納率向上に効果のある口座振替については、チラシやのぼり旗を作成し加入促進を図った。(チラシは窓口で配布、のぼり旗は保険棟入口に設置)滞納者には、個別催告書の発送、訪問・電話催促を行うなど接触機会の確保に努めながら、納付意欲の向上を図る一方、納付交渉を随時行った。さらに、長期・高額滞納者については、差押を視野にいれた催告書を発送したり、職員による重点的な訪問・電話催促を実施した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	収納員による収納額(国保+介護+後期)	36,728	39,928	50,000	50,000	50,000	千円
	2	文書による督促・催告発送数(国保)	14,132	12,197	16,000	16,000	16,000	件
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	国民健康保険料収納率(現年度)		94.02	94.43	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			100.4	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり				

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	11,626	11,626
		全体予算額	0	0	0	0	11,626	11,626
		決算額	0	0	0	0	10,153	10,153
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費
1.0	0.0		6,859		17,012			

【事務事業名：国民健康保険料収納対策事業】  
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	12,208	10,153	11,629	11,629	11,629
	うち一般財源	12,208	10,153	11,629	11,629	11,629
	人件費	6,878	6,859	6,859	6,859	6,859
	総事業費	19,086	17,012	18,488	18,488	18,488

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		個別催告のほか、職員による個別訪問を随時行うなど、滞納者と接触する機会を作る努力をしている。
	効率性	A:効率的だった		徴収嘱託員による臨戸徴収や休日徴収などの実施により、収納率は比較的良好な状態を保っている。
②成果に対する評価	指標名	国民健康保険料収納率(現年度)		3年連続で94%を維持している。収納率は景気に左右される部分もあるが、有効な取り組みを継続的に実施することが必要。
	目標	94.05	%	
	実績	94.43	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		嘱託員による臨戸徴収や休日徴収などの取組を積み重ねることによって成果目標をクリアしている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	夜間・休日納付相談の開催、訪問徴収、電話催告などを継続し、滞納者との接触の機会確保に努めるとともに、長期・高額滞納者に対しては、差押えを視野にいれた催告書を発送したり、職員による訪問・電話催告等を行うなど、接触を持つきっかけを増やし、収納率を維持していかなくてはならない。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	収納嘱託員による臨戸徴収を続け、文書や電話などによる催告、口座振替の加入促進、夜間休日を利用した納付相談窓口を設けるなど、滞納者との接触の機会を増やし、収納率の向上に努める。長期・高額滞納者については、生命保険や預貯金等の調査等を実施し、差押えを視野に入れた滞納整理を進める。			
	平成29年度	引き続き、収納率向上へ向けた取り組みを進める。			